

---

# RMKニュース 関東 NO. 46

発行 令和4年3月31日(水)

---

発行 一般社団法人 全国陸上無線協会関東支部 所在地 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-6 山城第三ビル五階 TEL 03-3293-0532 FAX 03-3293-0540 RMKホームページ <a href="http://www.rmk.or.jp/">http://www.rmk.or.jp/</a>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## < 目次 >

I 令和4年度第三級陸上特殊無線技士養成課程の受講者の募集について . . . . .	2 ~ 3
第三級陸上特殊無線技士養成課程受講申込書 . . . . .	4 ~ 5
II 陸上移動系無線局の一斉再免許申請取扱い結果について . . . . .	6
III 固定系無線局等の一斉再免許申請について . . . . .	7
IV 400MHz帯アナログ簡易無線局の再免許申請について . . . . .	7 ~ 8
V 「ローカル5G普及の今後の展望について」講演会結果について . . . . .	8 ~ 9
VI 協会ホームページについて . . . . .	9
VII 当面の予定 . . . . .	10

# I 令和4年度第三級陸上特殊無線技士養成課程 の受講者の募集について

支部では、令和4年度の第三級陸上特殊無線技士養成課程の受講者を下記のとおり募集します。  
募集人員数については、蜜を避けるため会場の広さ等を考慮のうえ、従来より少ない員数となっています。  
なお、この案内は、RMKのホームページにも掲載してあります。

<RMKホームページへのアクセス方法>



\*申込用紙は、RMKのホームページからも入手できます。

令和4年1月7日

## 令和4年度第三級陸上特殊無線技士養成課程

### の受講者の募集について

一般社団法人 全国陸上無線協会関東支部

当支部では、令和4年度に実施する第三級陸上特殊無線技士の養成課程の受講者を下記のとおり募集します。

なお、新型コロナウイルス感染拡大等により、中止となる場合がありますので、予めご承知おき下さい。  
お申込み後に中止となる場合は、その都度お知らせいたします。

#### 記

#### 1 養成課程実施日程等

NO	実施年月日	実施場所	募集人員
1	令和4年 6月10日(金)	東京セミナー学院(東京都豊島区)	25名
2	令和4年 8月26日(金)	栃木県総合文化センター(栃木県宇都宮市)	36名
3	令和4年 9月30日(金)	茨城県労働福祉会館(茨城県水戸市)	30名
4	令和4年10月21日(金)	東京セミナー学院(東京都豊島区)	25名
5	令和4年11月25日(金)	昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館) (群馬県前橋市)	30名

#### 2 受講料等所要料金

実施場所	受講料	無線従事者免許 申請収入印紙代	総額料金
東京セミナー学院	25,405円 (基本料23,095円+消費税2,310円)	1,750円	27,155円
その他の場所	28,549円 (基本料25,954円+消費税2,595円)	1,750円	30,299円

#### 3 申込方法

(1) 申込は、別添の「第三級陸上特殊無線技士養成課程受講申込書」に所要事項を記入の上、ファックス又は郵送等で下記宛て送付してください。

\* ファックスの場合 03-3293-0540

\* 郵送等の場合 〒101-0054

東京都千代田区神田錦町3-6 山城第3ビル5階  
一般社団法人 全国陸上無線協会関東支部

(2) 申込及び受講料の納付期限は、各養成課程実施日の2週間前までとします。なんらかの事情がある場合は、ご相談ください。

#### 4 その他

(1) 受講に際しての具体的なご案内は、各養成課程実施日のおおむね2月前に送付します。(2ヶ月前から2週間前までにお申し込みの方は即日を送付いたします。)

(2) すでに第三級陸上特殊無線技士の資格を有している方がこの養成課程を受講されても、同一資格の免許証は発給されません。

また、第三級陸上特殊無線技士より上級の資格を有している方は、その上級資格に第三級陸上特殊無線技士の操作範囲が含まれている場合がありますので、申込みに当たってはご注意ください。

(3) 無線従事者免許の申請に必要な氏名及び生年月日を証する書類として、住民票、又は無線従事者免許証、電気通信主任技術者資格者証、工事担任者資格者証の免許番号又は資格番号が必要です。ただし、受講者本人の11桁の住民票コードをこれに代えて使用することができます。(住民票については、コピー不可、個人番号(マイナンバー)が記載されていないものに限りです。)

住民票は、講習会当日会場にお持ちください。

本件連絡先  
一般社団法人 全国陸上無線協会関東支部 内園、鈴木  
TEL 03-3293-0532 Fax 03-3293-0540

#### 【参考】

#### 氏名及び生年月日を証する書類の例

- ・ 住民票の写し
- ・ 戸籍抄本、印鑑登録証明書
- ・ 外国人登録原票の写し
- ・ 住民票記載事項証明書
- ・ 公の機関が発行した資格証明書

(いずれもコピー不可)

住民票コード、無線従事者免許証、電気通信主任技術者資格者証、工事担任者資格者証の番号のいずれか1つを無線従事者免許申請書の所定欄に記載した場合は、書類の提出を省略することができます。  
ただし、番号を記載していただいても、氏名、生年月日が確認できない場合には、書類の提出をお願いする場合があります。

(注：総務省ホームページから転載)

<http://www.tele.soumu.go.jp/resource/j/operator/03B.pdf>

### 第三級陸上特殊無線技士養成課程受講申込書

令和 年 月 日

一般社団法人 全国陸上無線協会 関東支部 殿  
(FAX:03-3293-0540)

申込者  
 会員番号(注1) \_\_\_\_\_  
 会員名(注2) \_\_\_\_\_  
 住 所 \_\_\_\_\_〒 \_\_\_\_\_  
 連絡責任者名 \_\_\_\_\_印 図 \_\_\_\_\_

1 受講日及び受講地 **【受講日】** 令和 年 月 日 **【受講地】** 東京都・宇都宮市・水戸市・前橋市  
 (受講日を記入してください。) (受講地を○で囲んでください。)

2 受講者名  
 事務局記入欄 該当を○で囲んでください。  
 1 該当を○で囲んでください。  
 2 勤務先を希望する場合は、住所を記入してください。 ↓

受付 番号	フリガナ 氏 名	生年月日	性別	現 住 所	勤務先名	受講案内・受講料請求書送付先
		昭和・平成 年 月 日	男 女	〒		現住所・勤務先 〒
		昭和・平成 年 月 日	男 女	〒		現住所・勤務先 〒
		昭和・平成 年 月 日	男 女	〒		現住所・勤務先 〒
		昭和・平成 年 月 日	男 女	〒		現住所・勤務先 〒
		昭和・平成 年 月 日	男 女	〒		現住所・勤務先 〒
備考(注3)						

注1 \* 当協会の会員であって当支部に所属する場合は、「下3桁」の番号を、その他の会員の場合は「6桁」の番号を記入してください。  
 \* 当協会の会員以外の場合は、記入しないでください。  
 注2 当協会の会員の場合は会員名を、その他の場合は会社名等を記入してください。  
 注3 この養成課程を受講し修了試験に合格した場合に発給される「無線従事者免許証」は、本申込書の申込者宛てに送付しますが、その他宛てに送付を希望する場合は「備考」欄にその宛先を「免許証送付先:〇〇〇〇」のように記入してください。

受講者名(2枚目)

受付 番号	フリガナ 氏 名	生年月日	性別	現 住 所	勤務先名	受講案内・受講料請求書送付先
		昭和・平成 年 月 日	男 女	〒		現住所・勤務先 〒
		昭和・平成 年 月 日	男 女	〒		現住所・勤務先 〒
		昭和・平成 年 月 日	男 女	〒		現住所・勤務先 〒
		昭和・平成 年 月 日	男 女	〒		現住所・勤務先 〒
		昭和・平成 年 月 日	男 女	〒		現住所・勤務先 〒
		昭和・平成 年 月 日	男 女	〒		現住所・勤務先 〒
		昭和・平成 年 月 日	男 女	〒		現住所・勤務先 〒
		昭和・平成 年 月 日	男 女	〒		現住所・勤務先 〒
		昭和・平成 年 月 日	男 女	〒		現住所・勤務先 〒
		昭和・平成 年 月 日	男 女	〒		現住所・勤務先 〒
		昭和・平成 年 月 日	男 女	〒		現住所・勤務先 〒
備 考						

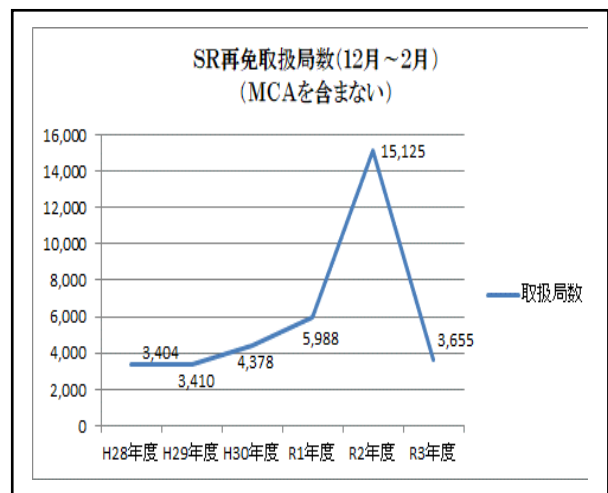
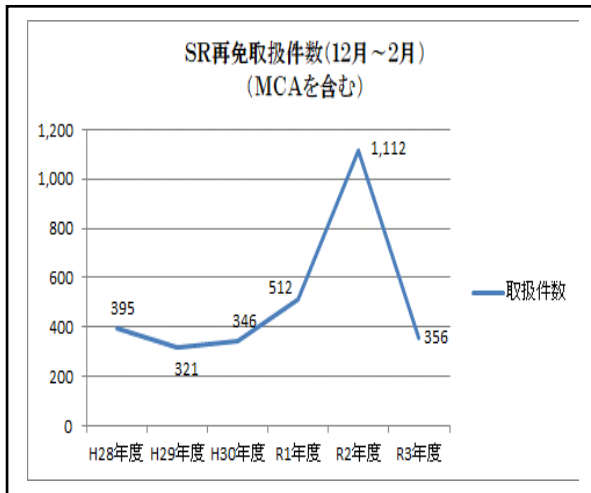
## Ⅱ 陸上移動系無線局の一斉再免許申請取扱い結果について

令和3年12月から令和4年2月末日までの期間において、会員各位の再免許申請に対しますご協力に心から感謝申し上げます。

陸上移動業務等無線局の再免許申請取扱い件数及び局数(12月～2月)

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
取扱件数	395	321	346	512	1,112	356
取扱局数	3,404	3,410	4,378	5,988	15,125	3,655

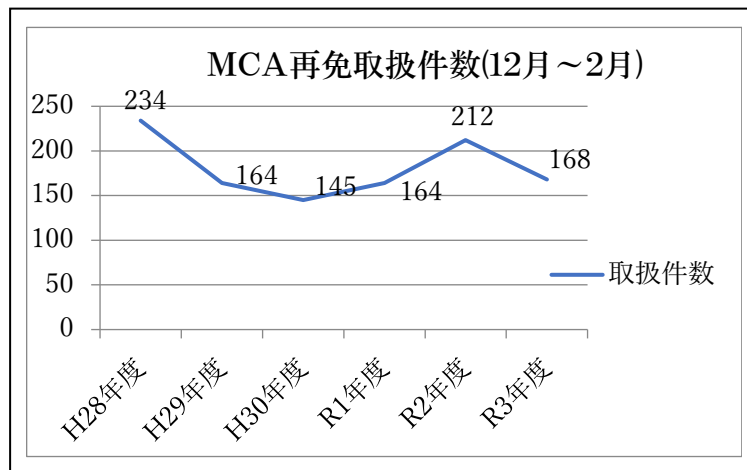
注 取扱件数にはMCAを含み、取扱局数にはMCAは含まれていない。廃止届を除く。



MCA再免許申請件数(12月～2月)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
取扱件数	267	234	164	145	164	212

注 MCAは平成24年度から協会では取り扱いを開始。



### Ⅲ 固定系無線局等の一斉再免許申請について

固定系無線局の免許の有効期限は「令和4年11月30日まで（免許状に記載の有効期限は平成34年11月30日まで）」となっており、令和4年6月1日から再免許申請の受付が始まります。

- 1 対象無線局  
固定局（FX）、無線航行移動局（RO）、無線標定陸上局（LR）、無線標定移動局（MR）、特別業務の局（SP）等
- 2 無線局の有効期限  
「令和4年11月30日まで（免許状に記載の有効期限は平成34年11月30日まで）」のもの
- 3 再免許申請の受付期間  
令和4年6月1日から令和4年8月31日まで（免許期間が1年未満の場合は、令和4年10月31日まで）

注 再免許申請電子データの送付は、令和4年8月24日（水）17時必着でお願いします。過ぎるものについては、お手数でも書面にて申請ください。（免許期間が1年未満の無線局を除く）

- 4 電子申請様式  
新様式テンプレート「saimen2020b.dotx」を使用するようにお願いします。
- 5 再免許申請電子データの提出先  
従来からお願いしておりますが、引き続き下記のアドレスをお願いします。

[denshi-sr-kantou@rmk.or.jp](mailto:denshi-sr-kantou@rmk.or.jp)

### Ⅳ 400MHz帯アナログ簡易無線局の再免許申請について

当初、400MHz帯アナログ簡易無線局の免許の有効期限は、アナログ周波数の使用期限でもある「令和4年11月30日まで」となっておりましたが、新型コロナウイルス感染症による社会経済への影響等により総務省の激変緩和措置として、アナログ周波数の使用期限が令和6年11月30日まで2年間延長されることとなりました。そのため、再免許申請を行うことにより令和6年11月30日までの2年間の免許を取得することが可能となり、令和4年6月1日から再免許申請の受付が始まります。

- 1 対象無線局  
400MHz帯アナログ簡易無線局（CR）
- 2 対象無線局の有効期限  
「令和4年11月30日まで」
- 3 再免許申請の受付期間  
令和4年6月1日から令和4年8月31日まで（免許期間が1年未満の場合は、令和4年10月31日まで）

注 再免許申請電子データの送付は、令和4年8月24日（水）17時必着でお願いします。過ぎるものについては、お手数でも書面にて申請ください。（免許期間が1年未満の無線局を除く）

#### 4 電子申請様式

新様式テンプレート「[saimen2020b.dotx](#)」を使用するようにお願いします。

#### 5 再免許申請電子データの提出先

従来からの本部電子申請センターあて提出をお願いします。

## V 「ローカル5G普及の今後の展望について」講演会結果について

3月22日(火)16:00から帝国ホテルにおいて、三菱電機(株)通信システムエンジニアセンター標準化担当部長の長谷川史樹様を講師にお迎えし、「ローカル5G普及の今後の展望について」と題して、講演会を開催しました。この講演は、令和3年度の新たな事業として全国陸上無線協会が事務局を担当する「ローカル5G普及推進官民連絡会」の協力により実現したものです。

参加者は、新型コロナ感染予防の観点から参加者を絞らせていただいたの開催となりましたが、本部の桂会長、田中専務理事他を来賓としてお迎えし、全体で75名の参加をいただきました。

講演に先立ち元田支部長の挨拶、来賓の桂会長からご挨拶をいただきました。



【講演会模様】

講演では、ローカル5Gの普及・展開のロードマップの説明、第5世代移動通信システムの概要やローカル5G活用による地域の個別ニーズに応えるべく設置された「5GHF地域利用推進委員会」の紹介をはじめ



めローカル5Gのネットワーク構成、利用周波数、隣接他業務共用条件、免許主体の範囲についての詳細説明。さらに令和2年度実施の地域課題解決型ローカル5G等実現型開発実証事業の説明や工場分野での実証実験案件例として、トヨタ自動車(株)の「MR技術を活用した遠隔作業支援の実現」、住友商事(株)の「目視検査の自動化や遠隔からの品質確認の実現」、日本電気(株)の「工場内の無線化の実現」等の事業概要について、紹介されました。

講演会の後、懇親会が開催され久方ぶりの会員相互の親睦も図られ、極めて有意義な講演会となりました。



【懇親会後の記念写真】

## VI 協会ホームページについて

4月1日から協会ホームページ(<https://rmk.or.jp>)がリニューアルされました。併せて、会員専用ページへのパスワードが変更されましたので、お知らせいたします。

なお、ユーザーID:rmkは、変更はありません。

ユーザーID:rmk

新パスワード:Denpa3301#

## Ⅶ 当面の予定

月	日(曜日)	関東支部	本 部
5月	12日(木)		本部三役会、第82回理事会
5月	19日(木)	支部三役会(伊東市サンハトヤ 浮舟 会議場)	
		第54回支部運営委員会(伊東市サン ハトヤ 浮舟会議場)	
		第36回支部通常総会(伊東市サンハ トヤ 初島)	
6月	21日(火)		第38回通常総会(KKR 東京)